

## 投稿規定

1. 投稿論文はEndourology, ESWLに関連する内容を含むものとし、論文の採否は査読審査の結果に基づき編集委員会で決定する。
2. 投稿者は、共著者を含め日本E&E学会会員に限る。総説は、原則として編集委員会の依頼によるものとし、本学会会員に限定しない。
3. 本誌に掲載された著作物の著作権は、日本E&E学会が占有するものとする。
4. 投稿に際しては、投稿論文の内容の全てあるいは一部が他誌にすでに掲載もしくは掲載予定でないことを明記した編集委員長宛の手紙を同封すること。また投稿論文の領域について表1. 審査領域8項目のうちから選び明記すること。
5. オリジナル原稿にコピー3部を添付する。表・図原稿に関しても、オリジナルとコピーを3セット用意すること。
6. 原稿送付先：  
〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目17番15号 斉藤ビル5階  
日本EE学会雑誌編集係  
TEL：03-5842-3870 FAX：03-5842-3871

## 論文の書き方

1. 原稿は和文、もしくは英文とする。和文、英文ともに、コンピュータのワープロソフトを使用することが望ましい。A4版用紙の片面にダブルスペースで印字すること。最終原稿のフロッピーディスクを最終原稿とともに提出することが望ましい。
2. 投稿論文は原著、症例報告、Urologist at Work (実際の手術の手法や工夫等の短報)に分ける。
3. 原著論文およびUrologist at Workの構成は、a. 標題、b. 抄録、c. 緒言 (Introduction), d. 対象と方法、e. 結果、f. 考察、g. 参考文献、h. 図・表の説明 (Legends), i. 図・表の順とし、各セクションはそれぞれ新しいページより始める。抄録については、和文原稿の場合英語で150ワード以内と日本語で350字以内の抄録をつけて、英文原稿の場合英語で150ワード以内で作成すること。
4. 症例報告の構成は、a. 標題、b. 抄録/要旨、c. 緒言 (Introduction), d. 症例、e. 考察、f. 参考文献 (最小限にとどめる)、g. 図・表の説明、h. 図・表の順にし、各セクションはそれぞれ新しいページより始める。
5. 投稿論文の長さは以下を原則とする。

	仕上がりページ	図・表・写真
原著論文	8	8
症例報告	5	4
Urologist at Work	4	4

- 英文、和文ともに原稿枚数3枚をもって仕上がりページ約1枚(1800字)と換算する。ただし、図・表およびその説明も仕上がりページに組み込んで換算すること。
6. 標題を記したページには、全著者名とその所属、住所、電話番号、ファックス番号(使用可能な場合は)e-mailアドレス、校正刷りを送付するための代表著者名、Key words(5単語以内)を記載する。
  7. 略語を用いるときは、これが本文中に最初に出る時、正式名と略語を併記し、以後略語のみを用いる。一般に受け入れられていない略語を新たに作って用いることはしない。また、標題、抄録・要旨中での略語の使用は避ける。
  8. 薬剤名は医薬品名と化学名を用い、商品名を使用してはならない。
  9. 和文原稿に関する注意

- 原則として、現代かなづかいを用い、当用漢字表に従う。
- 外国の地名、人名などは原語をそのまま用いるが、慣用的に広く定着したものはこの限りではない。
- 範囲を示す場合～は使用せず、- (半角ダッシュ) でつなぐ。  
例：2 - 3日, 30 - 40℃
- 単位は原則として記号 (g, mg, m, mm等) を用いる。
- 数量は算用数字を用いる。

●用語は原則として「泌尿器科用語集」(金原出版)に従う。

10. 英文原稿に関する注意
  - 本誌に掲載のInstructions to Authorsに従うこと。
11. 参考文献の引用数は20文献以下とする(依頼による総説論文については、この限りではない)。引用は本文中に表れた順とし、引用した文末に肩付きで通し番号をつける。

### 文献の記載方法

- 雑誌の場合は、文献番号(ピリオドをつける)、著者名(ファミリーネームが先、1字開けてイニシャルをピリオドなしでつける)、出版年(( )でくくる)、論文タイトル(ピリオドをつける)、誌名、巻数：ページ数(始め-終わり)の順に記載する。誌名はIndex medicusに示された略称、もしくはその雑誌に与えられた正式な略称を用いる。
- 単行本の場合は文献番号、著者、出版年、書籍名(ピリオドをつける)、出版社名を記載する。
- 著者が4名以上いる場合は、3名までを連記し、最後に「他」[ , et al. ]をつける。

### 記載例

- 欧文雑誌  
Chisholm DJ, Youn JD, Lazarus L (1969) The gastrointestinal stimulus to insulin release. J Clin Invest 48 : 1453-1460
  - 欧文単行本  
Robins JA, Brown NM, James KA (1988) Bladder carcinoma in children. In : Early JK, Diner CW (eds) Pediatric Malignancies. vol. 1. The Williams & Wilkins, Baltimore, pp35-46
  - 和文雑誌  
東原英二, 田中良典, 堀江重郎, 他 (1992) 腹腔鏡下副腎摘除術, 日泌尿会誌83 : 1130-1133
  - 和文単行本  
寺地敏郎 (1995) 腹腔鏡下副腎摘除術の歴史, 寺田修, 東原英二 (監修) 腹腔鏡下腎・副腎摘除術-副腎篇. 診断と治療社, 東京, pp1-4
12. 図および表について
    - 図・表およびその説明は、和文原稿の場合は日本語で、英文原稿の場合は英語で作成すること。
    - 図・表には番号(図1, 図2……, 表1, 表2……, またはFig. 1, Fig. 2……, Table 1, Table 2……)をつけ、本文中でこの番号に従って必ず引用する。
    - 表の中で用いられる略語については、脚注をつけて説明すること。
    - 図の大きさは横幅が1段(84mm)または版面(176mm×237mm)に収まる範囲のものとし、原則として、そのまま原寸で写真取りして使用できるものを用意する。
    - 裏側に著者名、タイトル、図番号、上下方向を記入する。
    - 顕微鏡写真等の縮小、拡大率を正確に示すべき図は、必ず図中に標準尺度を示す線を記入し、図説の中で説明する。×1000等の方法で示さないこと。
    - 図のカラー印刷を希望する場合は、カラー製版・印刷代を著者に請求する。
    - 仕上がりページが規定を超えた場合も、超過ページ分を有料とする。
  13. 総説は編集部よりの依頼原稿のみであり、ページ数は各々の場合によって異なる。700語以内の抄録をつける。

## 別刷について

別刷は有料にて注文を受けつける。著者校正時に校正刷りと共に送付される注文用紙に記入の上、校正返送時に同封すること。

表1. 審査領域について

1. ESWL 衝撃波関連領域	5. マイクロ波、レーザー関連領域
2. Endourology領域	6. 前立腺肥大症手術
3. 腹腔鏡手術：副腎・腎・腎盂尿管	7. HIFU, 超音波領域
4. 腹腔鏡手術：前立腺・その他	8. その他の領域